

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会評価報告書

(倉吉未来中心)

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立倉吉未来中心の管理運営状況进行评估した。

1 対象施設

鳥取県立倉吉未来中心

2 指定管理者

公益財団法人鳥取県文化振興財団（鳥取市尚徳町101番地5）

3 指定管理期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日

4 委員会

(1) 開催日・場所

第1回委員会：令和4年9月2日（金）午前10時から11時30分（倉吉未来中心）

第2回委員会：令和4年10月26日（水）午後3時から4時30分（倉吉未来中心）

(2) 委員

氏名	所属等
大久保 計良（委員長）	西日本税理士法人（税理士）
宮脇 儀裕（副委員長）	鳥取短期大学生生活学科住居・デザイン専攻学科長
井手添 敬子	NPO法人楽理事長
箕浦 計江	NPO法人未来職員
谷田 富穂	倉吉市生活産業部部長
村上 真弓	鳥取県地域づくり推進部文化振興監兼文化政策課長

(3) 評価方法

令和元年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、6人の委員の審議により各審査項目の評価点を決定した。総括点は、各評価項目の評価点数より平均値を算出し、委員の審議により決定した。

審査項目	主な審査内容
管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none">・開館時間、休館日、利用料金等・利用者へのサービス提供・向上策・法令等の遵守・利用者意見の把握・対応
維持管理の状況	<ul style="list-style-type: none">・施設設備の保守管理・修繕・施設の保安警備、清掃等・事故の防止策、緊急時の対応
事業等の状況	<ul style="list-style-type: none">・利用促進のための事業実施内容・施設の設置目的達成のための事業実施内容
利用状況、収支の状況	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用状況・利用料金の徴収、減免の状況・管理運営にかかる収支状況

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(4) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による管理運営状況の評価は「1」と決定した。

審査項目	評価点数
管理運営の状況	1
維持管理の状況	0
事業等の実施状況	1
利用状況、収支の状況	1
総括	1

イ 運営評価委員からの主な意見

①管理運営の状況について

<5段階評価の調整点>	1点
<評価の理由・意見等>	
○ウェブ申込みやキャッシュレス決済の導入のほか、オンライン会議の普及に伴う利用者ニーズに対応した設備の導入など、利用者の利便性向上に繋がる取組がなされている。	
○間仕切り版の貸出し、ゴミ回収サービス、移動式音響反射板の設営サービス、荷物預かりサービスなど、有料・無料のきめ細やかなサービスを提供している。	
○複数の手法で利用者の声を把握し、要望等に対して迅速に対応するとともに、県内各地域で地域懇談会を開催するなど、施設運営や事業実施についての意見把握に努めている。	
○大ホールの直前割引や平日割引プランの設定のほか、過去の利用者への案内送付やキャンセルによるホール空き情報のHPやSNSでの発信など、利用促進に向けた工夫がなされている。	

②維持管理の状況について

<5段階評価の調整点>	0点
<評価の理由・意見等>	
○複合施設であることから、各施設との連携・情報共有を図りながら安全管理に努めるとともに、施設内の案内表示をカラーユニバーサルデザインによる表示に改善するなど、適切な維持管理がなされている。	
○建物の構造上の問題もあるが、雨漏り対応（バケツの設置）は、安全面や見た目にも配慮した工	

<p>夫を行ってほしい。</p> <p>○サーキュレータの整備や検温器（有料）、仕切り板（無料）の利用者への貸し出しなど、コロナ感染対策に取り組んでいる。</p>

③事業等の実施状況について

< 5段階評価の調整点 >	1点
< 評価の理由・意見等 >	
<p>○利用促進のため、舞台などの施設見学、有名ピアノの演奏体験など、文化施設ならではの施設機能の発信に取り組んでいる。</p> <p>○活動者や教育機関からのイベントや舞台に関する相談窓口対応や他の公立文化施設への技術職員による支援、小学生向けホールツアー、福祉施設への文化芸術のアウトリーチ、地域の多様な団体が参画する「未来つながるプロジェクト」の実施など、施設機能を活用した幅広い対象への文化事業が実施されている。</p> <p>○みらいギャラリーや市内観光施設との連携展示で人が回遊する仕組みづくりや中部1市4町の文化・観光情報コーナーの設置など、地域の文化交流施設としての事業が実施されている。</p> <p>○地域の企業等との協働を目指す「パートナー企業制度」や専門的見地からの助言を得るための「アドバイザースタッフ制度」の導入といった新しい取り組みが行われており評価できる。</p>	

④利用状況、収支の状況について

< 5段階評価の調整点 >	1点
< 評価の理由・意見等 >	
<p>○今期（コロナの影響が及ばない令和元年度）のひと月あたりの利用料収入は、ほぼ前期並みの収入額を確保しており、またコロナ禍においても経費の節減対策に取り組みながら、各年とも安定的な収支状況を達成している。</p>	